



ユネスコ エコパーク通信

綾プロ10周年記念イベント 「森へ行こう」を開催しました

綾の照葉樹林プロジェクト（綾

プロ）の発足10周年を祝うイベント「森へ行こう」は、5月17日に照葉大吊橋周辺で開催しました。町内外から集まった約70人の参加者は、原生的な森を見ることができる「大森岳林道コース」と、照葉樹林を展望できる「県有林コース」の2コースに分かれ、ガイドの解説を聞きながら散策を楽しみました。

その後、照葉大吊橋料金所の近くにある「てるは森の驛」に入ると、おいしそうな匂いが。手づくりのイノシシ汁などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打つ

ていました。

前田町長と河野県知事から10周年を祝うあいさつや、町内の語り部の会による綾の昔話もあり、参加者は新緑がまぶしい綾町での休日を楽しんでいる様子でした。

綾プロ10周年記念イベントは今後も続き、7月25日（土）には木育シンポジウムと木育キャラバンを、9月上旬には記念フォーラムを行います。詳しくは決まり次第お知らせします。多くの皆さんの参加をお願いします。



木づかい全国キャラバン(木育キャラバン)



地域おこし協力 隊員が赴任



すぎ もと だい
(宮崎市出身)

6月から綾町の地域おこし協力隊員として委嘱を受けました。

綾町は食べ物も水もおいしく、何より手つかずの自然に囲まれて生活できるのが魅力ですね。家族5人で町内に移り住む予定です。

まずは地域のことをよく知るため、町民の皆さんとの交流から始めたいと思っています。将来は、綾町の情報を発信するビジターセンターの設立に携わるという目標を持って、綾町のために汗を流すつもりです。

どうぞよろしくお願いします。

※地域おこし協力隊

地域外の人材を、地域社会の新たな担い手として受け入れ、その定住定着を図ることで地域力の維持・強化を図るための総務省の制度

コラム

シュレーゲル アオガエル

田植えの季節、水田の畦に白い泡の塊を見たことはありませんか。これは、森に近い田んぼで暮らすシュレーゲルアオガエルの卵です。全長3〜5cmで、よくアマガエルに間違われますが、アマガエルが耳の横に黒い線が入るのに対し、本種は全身がきれいな緑色をしています。

変わった名前ですが、実は日本にしかない固有種。欧州の動物学者ヘルマン・シュレーゲルが命名しました。「田んぼの貴公子」とも呼ばれる本種、昼間目にする機会は少ないですが、雨あがりの夜に、コロコロと高い声でよく鳴いています。

